第14回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成26年3月12日 水曜 午前11時00分～13時00分

2. 開催場所 株式会社テレビ朝日本社8階 特別会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 7名

出席委員の氏名

委員長 池井 優 (慶応義塾大学名誉教授 法學博士)

委員 黒鉄 ヒロシ (漫 画 家)

委員 石田 則明 (無線システム研究所 代表)

委員 藤田 興彦 (財) 児童育成協会 (こどもの城) 理事長)

委員 高木 美也子 (日本大学総合科学研究所 教授)

委員 元村 直樹 (早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 客員准教授)

委員 丹羽 美之 (東京大学大学院 情報学環 准教授)

※欠席委員 戸張 捷 (株)ランダムアソシエイツ 代表取締役)

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン 代表取締役社長	今堀 元則
業務推進本部長	渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日 編成制作局総合戦略部 部長	谷口 洋一
戦略担当部長	奥村 彰浩
コンテンツビジネス局CS事業部 部長	荻田 英次
統括担当部長	丹野 裕一
報道局クロスメディアセンター センター長	関川 修一
プロデューサー	古川 英気

4. 議 題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、「テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ」の番組について

5. 議事の概要

- ・テレビ朝日コンテンツビジネス局CS事業部事業報告・編成説明
番組審議

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」課題番組の審議
『〇〇万円あったら××できるでしょ?』

「テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ」課題番組の審議
『ニュースの深層』

6. 審議内容

①シーエス・ワンテンの事業報告

○110度CS放送に於いて、「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」「テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ」、「MTV」、「BBCワールドニュース」、「CNNj」、そして「ミュージック・エア」の6チャンネルを放送している。

○110度CS放送は、これまで順調に加入者を増やしてきたが、2月末日現在で201万3千件、基幹商品の「基本パック」は81万8千件と前年度までの伸びと比べて成長が鈍化してきた。

○この加入の鈍化に対し、プラットフォームであるスカパーJ SATでは、年2回もしくは3回の10日間無料開放デーや基本パックの初月半額キャンペーンなどの施策を行い、新たな層に対し加入促進を進めている。

○本年3月17日には、スカパー「セレクト5」という新商品が発売される。全45チャンネルの中から、5チャンネルを選んで月額1,980円という、基本パック3,570円と単チャンネル契約の中間商品となり、新規加入者の獲得とともに、基本パックからの解約者の受け皿としての役割が期待されている。

②テレビ朝日CS事業部の事業報告

テレビ朝日では、一昨年4月の「朝日ニュースター」の事業譲渡から「テレ朝チャンネル」「朝日ニュースター」のCS2チャンネル体制をとってきたが、昨年春にはチャンネル名称を「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」「テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ」とテレビ朝日ブランドに統一し、それぞれのチャンネル内容をよりわかりやすいよう変更した。

③【テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ】編成説明・番組審議・委員意見

○総合エンターテイメントチャンネルとして、ドラマやバラエティ、アニメを中心に
お送りしており、契約視聴総世帯数は約465万世帯。

○この1年間で約13万件の純増を示し、CS放送全体が伸び悩みの中、順調に視聴世帯を伸ばしている。

○今後もテレビ朝日地上波と連動したオリジナルバラエティ番組をはじめ、CS独自

のオリジナル番組の開発・制作を進め、テレ朝チャンネル1ならではのドラマ・バラエティ・アニメ、それぞれの番組をさらに強化し、世帯数増加を目指す。

○11月オープンのEXシアターでのコンテンツ「ガムジャラJ's Party」は、地上波でも「ガムジャラ！」が始まり連動して放送していく。ジャニーズの先輩のヒットソングを披露するので、知らなくても楽しめる。オフィシャルサポーターは、Sexy Zone。

○EXシアターTVでは、奥田民生を皮切りに、ライブの独占放送。

○本国で視聴率48%台を獲得した「王家の家族たち」という韓流ドラマの、放送権を獲得した。日本でいうと「渡る世間は鬼ばかり」のようなもの。今の韓国の、学歴至上主義や偏った愛をテーマにしている。

◆テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ『〇〇万円あったら××できるでしょ?』 番組審議◆

番組概要：若手芸人と若手ディレクターが超低予算でロケを行い、バラエティ番組の新たな可能性を模索する若手発掘実感バラエティ。ディレクターと若手芸人たちが知恵を絞って、「〇〇万円あったらやりたいこと」にチャレンジするテレ朝チャンネル1オリジナル番組。今回は、お笑い芸人「天の川」が最近旅行に行けていないというディレクターに彼らの出身地「山梨県富士吉田市」を10万円で満喫させる旅を企画。

〈委員意見〉

- 低予算とあるが無人島ものとか所持金ゼロの旅など、究極シリーズのひとつとらえている。
- 10万円を使いきっていないのでコンセプトと異なる点が気になった。制作費がなくてもアイデアがある番組をつくったほうがよい。
- 番組としては問題ない。ディレクターが自身に突っ込みを入れるテロップの利用は気になる。
- テンポがよくて、「水曜どうでしょう」的な狙いは見れた。設定されたお金でどれくらい楽しめるかがキモの部分だが、そこが活かされていなかった。
- 実験的バラエティといわれているが、新鮮さは感じられない。しかし、更なる工夫次第で面白くなるのではないか。
- ディレクターと若手芸人の知恵を絞っている感じがない。次回以降に期待したい。
- 金額など綿密な段取りをすべき。小学校に飛びこんで漫才をするなどのサプライズがあった方がおもしろかったのではないか。中途半端で終わってしまった印象。

④ 【テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ】編成説明・番組審議・委員意見

○オリジナル制作の「ニュースの深層」をはじめ、「グッドモーニング」「ワイドスクランブル」「スーパーJチャンネル」などの報道系の番組をはじめ、プロ野球やサッカー、フィギュアスケートなどのスポーツイベントの生中継を強化し、新たな視聴

者を獲得している。

- 契約視聴総世帯数は約625万世帯。昨年4月からはIPTVの「ひかりTV」への参入も実現し、昨年同月比で約73万件の増加となった。
- プロ野球では、昨年度に引き続き今シーズンも埼玉西武ライオンズ主催の全試合生中継を行い、西武ライオンズファンの視聴も定着してきた。
- 世界水泳やサッカー・ブラジル代表戦やブラジル国内リーグ戦生中継をはじめ、スカッシュ、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、ゴルフ、テニスなど新たなスポーツイベントの放送も積極的に取り入れ、視聴者層の裾野の拡大に取り組んでいる。
- 「フォーミュラE」という次世代の電気自動車によるカーレースの放送を予定。すべて街中を走る。音の問題は電気自動車なので解消。地上波・BS・CSを一体で運用。CSでは予選などを放送予定。新たなファン獲得を目的とし、電気自動車ということもあり世界中から注目されている。
- 4月1日よりテレビ朝日ホールディングスも発足し、地上波、BSと連動したテレビ朝日3波体制を有効に活用した立体的なスポーツ中継を推進し、新たな視聴者層を取り込んでいきたい。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ『ニュースの深層』番組審議◆

番組概要：毎回1テーマに絞ってじっくり紐解き伝えていく本格的言論創出型の報道番組。新進気鋭の論客6人が、気になるニュースの当事者や発信者などに問いかけ、問題の真相を掘り起こす番組。

〈キャスター〉

月曜：津田大介（メディア・アクティビスト）

火曜：荻上チキ（評論家、ニュースサイト編集長）

水曜：渋谷和宏（経済ジャーナリスト）

木曜（隔週）：小野由美子（ウォール・ストリート・ジャーナル日本版編集長）

木曜（隔週）：高橋美佐子（週刊朝日副編集長）

金曜：小田嶋隆（コラムニスト）

今回取り上げた回は

「圏外でも読める！ニュースが快適に読める“スマートニュース”とは」

ニュースをスマホで素早くチェックしたいが、つながるまで時間がかかるし、圏外になるとつながらない…そんなイライラを抱えた人たちに福音となるアプリを開発し、ヒットしているのが「スマートニュース」だ。待ち時間のイライラはゼロで、しかも無料。どうやってこのアプリを開発できたのか。

「スマートニュース」は、グーグル社の優れたアプリを選ぶ「Best of 2013」で「アプリ・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。

4月よりテレ朝チャンネル2の報道新番組のキャスターとして登場する津田大介氏が開発の深層に迫る。

<出演者>

キャスター：津田大介（メディア・アクティビスト）

下平さやか（テレビ朝日アナウンサー）

ゲスト：浜本階生（スマートニュース株式会社・代表取締役）、鈴木健（同取締役）

〈委員意見〉

- 金髪でファッションにしてもスマホをもっていない自分と年代や流派が違い、隔離があり、意見が違う。
- アプリを入れてみたが、新聞ソースの情報がほとんど。新聞が不要と言いつつ、新聞をテレビ番組でも利用していて、なくなったらどうなるかということ考えた。スマートニュースは、電波がなくても読めるのはよい。
- キャスターの立ち位置がどうあるべきか。IT業界の利益を代表しているのかというのが気になる。
- スマートニュースのアプリをダウンロードした。新しい情報としては意味がある。出演者とは旧知のため内輪の話になってしまったので、もっとニュースサイトの全体的な状況の説明があったほうがよい。
- 1時間たっぷり深層に迫ろうという意図は理解できる。内容としてはネット社会でどう変わるか、伝統的なメディアとの関係、新しいメディアの関係が見えた。無料アプリということで事業化ということがはっきりせず、ビジネスとして具体的な計画が必要なのでそこが聞きたかった。今後期待したい。
- 大変興味深い。内容的にも勉強になった。著作権の問題はどう解決されたのか、どう乗り越えたのかが分からなかった。ビジネスモデルもそうだが、見通し的なものがあると安心できる。
- ニュービジネスと技術をどう結ぶかおもしろく拝見した。中高生のネット依存、40歳代女性の依存症の話をはじめ、日本社会にどういう影響があるのか、日本の未来につながっているのではないか。金髪に抵抗があったが、話はまともだし司会者の役割をはたしている。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成26年3月12日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日
平成26年4月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定です。
9. その他の参考事項
平成26年度、次回の放送番組審議会は、9月に開催予定。

以 上